



映画会

5月26日に
本年度第1回目
の映画会が開催
されました。
当日は地域の
方々約40名の

「遅咲きのヒマワリ」を上映

アンコールに答えて続編を鑑賞
参加を得て、四万十市を舞台
にした青春群像ドラマ「遅咲
きのヒマワリ」続編、2回目
を上映しました。

映画が始まり映像の中に見
覚えのある場所が映し出され、
土佐弁(幡多弁)交じりの会
話が始まると会場が大盛り上
がり、感動あり、笑いあり、
ため息ありの1時間30分と
なりました。

前回、映画の終了時には、
「続きが見たい!」との声も
聞かれ、今年度の公民館行事
として企画して、少し間は空
きました。アンコールにお
答えしての鑑賞会となりまし
た。

(寄稿者・田所秀二運営審議
会会長)



岩村社協も 総会を開催 豊かな福祉の地域をめざして

協議会が開催されました。
この中で、29年度事業報告、
決算報告がされ、30年度事業計
画、予算案が承認されました。

4月23
日(月)、3
0年度第1
回の岩村地
区社会福祉

- 委員・北岡 純一 (堀の内)
- 委員・中尾 香代 (金地)
- 委員・山本眞喜子 (金地)
- 委員・田所 園子 (金地)
- 委員・田村 辰男 (金地)
- 委員・大島 貴子 (蔵福寺島)
- 委員・大島 達郎 (蔵福寺島)
- 委員・内田 國夫 (福船)
- 委員・内村 郁雄 (福船)
- 委員・竹内 章代 (福船)
- 委員・和田 真一 (福船)
- 委員・入交 満 (包末)
- 館長・島崎 宏明 (金地)

日赤分区分・分団も 事業・収支報告

この日、同時に30年度「日本
赤十字社岩村分区分・分団」事業計
画、収支計画が発表され、日赤岩
村分区分・分団長の大島達郎さん
(蔵福寺島)から報告がありまし
た。

岩村の歴史 ヒストリア

第9回

岩村は平安時代 から存在した

岩村はいつの時代から存在した
のか?
まず神奈地祇神社ができたのが
866年(貞観8年)の平安時代
の初め。京都の平安京に遷都して
から平安時代は390年余り続く。



866年に建立された神奈地祇神社。天皇家より
嫁いだ妻・物部氏祖3世の孫「天忍男命」の妻
「賀奈良地姫」を当地に祀ったといわれている。

平安時代中期、今でいう百科事
典のような「倭名類聚抄」(93
1年〜938年に作成)の中にも
岩村が出てくる。これは東京の国
立国会図書館に保管されており、
閲覧自由のデジタル資料の中に第
5巻・土佐の国、香美郡の中に安
須・大忍・宗我・物部・田村・深
淵と兵に石村が7ヶ村の一つとし
て登場する。石村のふりがなとし
て、漢字で伊波牟良と書かれてい
る。少なくとも岩村が石村だった
時代は平安時代中期までは続い
ている。

また室町時代の初め、南北朝の
ころ、須崎地方の豪族・津野氏の
有力武将野田(佐伯)小三郎経貞
が残した「佐伯文書」の中に13
36年4月26日、岩村城を焼き
払ったと書かれている。
こうしてみると、岩村は平安時
代には存在し、鎌倉、戦国時代へ
と続いて行ったようである。平安
時代以前の奈良時代・古墳時代に
も「集落」はあったと考えるのが
ふつうであるが「石村」としての
記録は発見されていない。
(寄稿者・福船 和田真一)

岩村ひまわり会 春のドライブ



「まだはやかったねえ〜」
「もう2週間ばあせんと・・・咲かん
ねえ」
5月19日(土)ふれあいセンター
は資源ごみ回収が終わったばかり。委
員の方々も残っていて、大勢で見送っ
てくれました。

岩村ひまわり会 春のドライブは総
勢15名の参加。
あじさいのシーズンにはまだ早いと
思いながらも、久しぶりのドライブを
楽しむことにしました。

曇り空の中、まずは香美市へ。道の
駅・葦生の里でお買い物。
私は田舎どうふやゆずかりんとう、
手作りのこんにゃくなどを買い込みま
した。

葦生の里を発って、戸板島の橋を渡

りあじさい街道に向かいました。
遠くからも長く続くあじさい街道は
まだ緑一面。近づくにつれてぼつりぼ
つりと青や白が見え出すとそれだけで
歓声。川沿いに長く続く緑の街道は、
田んぼの苗、あじさいの葉、笹の葉と
さわやかな5月の風景を車窓から楽し
みました。
そろそろお腹もすいてきたので、野
市の「すし正」で昼食をいただくこと
に。
大勢で食事をするので早く準備をする
ためか、温かいものも冷めていたりす
るけれど手際良く配膳された、温かい
天ぷら、汁物、煮物、新鮮なお刺身と
お寿司をいただきました。
おしゃべりも食事のうち・・・満腹
満腹
帰りに再びあじさい街道を通っても
らいセンターまで15分。

外で歩くことがなかったので、いつ
もの体操をして解散しました。
岩村ひまわり会は、月に4回、土曜
日に集まり体操・歌・ゲーム・おしゃ
べりなどで笑って2時間過ごしています。
センターまで来ることのできる方は参
加しませんか?いつでもお待ちしてい
ます。

(寄稿者・金地 中尾香代)